

群馬県高等学校教育研究部会農業部会

流通情報研究部会 のWebサイト

食品流通などの経済科目や農業情報処理に関する
指導力の向上を目指します

Since Nov. 1st 2012



検索

カウンタ

COUNTER

000000

「このブラウザは、Cookie が無効になっています」と表示されたら……

[こちらをクリックして下さい。](#)

メニュー

流通情報研究部会

- 農業部会について
- 2011年度以前の流通情報部会
- お問い合わせ

カレンダー



IMAGINE

たとえば、日本語の起源

IMAGINE

流通情報部会の活動の記録(平成24年度以降)

流通情報部会は、平成24年度から群馬県立伊勢崎興陽高等学校が事務局です。
それ以前の部会の概要については、[「2011年度以前の流通情報部会」](#)をご覧ください。

[2014/07/31] 平成26年度情報処理技術競技大会が開催されました

群馬県学校農業クラブ連盟が主催する農業情報処理技術競技大会が伊勢崎興陽高等学校で開催されました。県下7校から25名の生徒が参加し、情報処理に関する知識や表計算の処理やグラフ作成・考察文書処理などの各問題に取り組みました。

最優秀は中之条高等学校、優秀賞は勢多農林高校が3名、伊勢崎興陽高校が2名、富岡実業高校・大泉高校・安中総合高校から各1名が入賞しました。

本年度から、問題の傾向を変更して、従来型の「入力データの多い問題」から「目的のデータを上手に処理する」ことに重点を置きました。指導要領に示されているように、普段の授業においても「思考・判断・表現」にウェイトをおいた言語活動の充実が指摘されています。そのような背景もあり、出題傾向を変更しました。

＜ファイルのダウンロード＞

- ・生徒に配布したUSB内のファイル(Zip形式)
- ・問題・解答用紙・模範解答等(Zip形式)
- ・審査長指導講評(pdf形式)・・・2014/8/6Upload

[2014/08/18](追加) 部会開催の趣旨(6'55"と少々長いですが)

i-FILTER

このページは閲覧許可されていません。
閲覧を希望する場合はぐんまスクールネット管理者まで

URL	http://www.youtube.com/embed/IAW
ブロック理由	アップローダー
IPアドレス	10.202.28.75

ぐんまスクールネット管理者

DateTime: 2014/08/21(Thu) 14:22:42

※YouTubeは、
ぐんまスクールネット
上では閲覧できません。

閲覧可能にするには、
センターへ申請する
必要があります。

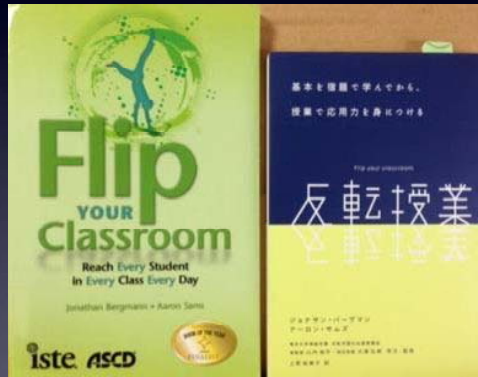
[2014/07/04] 平成26年度農業部会流通情報研究部会開催について

平成26年度農業部会流通情報部会の開催通知を本日各校宛FAX送信しました。

日程等は以下のとおりです。

- 1 期 日 平成26年 8月22日(金) 13:20～ (受付13:00～)
- 2 場 所 東日本デザイン&コンピュータ専門学校
(前橋市小屋原町1098-1 ・ TEL 027-267-1171)
- 3 日 程 (1)無料ソフトで出来る映像制作 13:20～14:50
(2)パワーポイント中級講座 15:00～16:30

なぜ？ 映像制作？



反転授業で目指すもの

- 学習指導要領・・・「言語活動の充実」が示される
- 「授業で生徒は何を行うか？」を考える
 - 英語の授業・・・・英語の授業は英語で、なぜ？
 - 先生の説明を聞く・・・・生徒の脳は思考しているか？
 - やるべきこと・・・演習・ 質疑応答・ 議論 等

反転授業を勧める理由

- 生徒はインターネット・ネイティブ
- 多忙な生徒を助ける
- つまづいている生徒を助ける
- 生徒が先生を「停止」・「巻き戻し」できる
- 生徒と教師の双方向のコミュニケーションを助ける
- ……いろいろな効用が……

ビデオを作らなくても……

- 平成25年度「農業経済」での実践
 - 予習（宿題：教科書を読み200字のコメント）
 - （事前提出）学習支援サイトへのアップロード
 - 授業（発表&ディスカッション）

川島 一秀（群馬県立伊勢崎興陽高等学校）

情報処理技術競技は、農業情報処理に関する技能向上を目指して、表計算ソフトウェアや文書作成ソフトウェアを活用した内容で毎年行われています。事務局校が変わった平成 24 年度から会場校のコンピュータを使い、全員が同一条件で競技を行うようになりました。

本技術競技で入賞するためには、従来から「データの入力スピード」がカギとなっていました。そのことは、情報を処理して分析する能力よりも、文字を早く打ち込める入力スピードに特化した能力が評価される時代でもありました。もちろん、情報を早く処理するためには「入力スピード」は必要な条件かもしれませんが、それだけでは十分とは言えません。つまり、どのような処理を行うかを自ら考え、判断して、表現する能力も加わってはじめて、「情報処理技術が高い」となるからです。

昨年度は、グラフ問題で右側に第 2 軸のあるグラフを作成するなど技術的に高い課題を設定したため、平均点や優秀賞ボーダーラインが大きく下がってしまいました。

本年度は、「商業動態統計調査」から必要なデータをコピー&ペーストして処理する問題を出題しました。平均点は、昨年度よりも少し高くなるのでないかと予想していましたが、出題方法が変更されたことによって競技者の戸惑いもあったようで、昨年度とほぼ同様な結果となりました。

各問題の平均点を具体的に見ると、情報知識 49.6 点（前年比+18.7 点（以下同じ）／100 点満点）、表計算 157.6 点（-59.4／500 点満点）、グラフ作成 23.2 点（+16.7／200 点満点）、考察文書 18.8 点（+10.9／200 点満点）、合計点 249.2 点（-3.8／1000 点満点）でした。審査の結果、入賞ボーダーは 300 点で、最優秀 1 名、優秀 8 名が選ばれました。

以下、問題別に気づいた点を述べます。

【情報知識】

情報知識問題は、普段から情報に関する興味関心をもち、分からない用語や、疑問点があったら、教科書等でしっかりと確認する癖をつけましょう。農業情報処理の教科書には「重要用語のまとめと解説」が掲載されています。

【表計算処理】

印刷形式を参考にしながら、問題文の「指示」をしっかりと読む必要があります。引用部分を正確にコピー&ペーストしないと正解は導き出せません。

【グラフ作成】

グラフを作成するときは、項目とデータを正しく選択してから操作する必要があります。離れた項目の指定や第 2 軸を使ったグラフ作成、x 軸の項目、軸ラベルや値データ・凡例などは、指示通りに指定する必要があります。

【考察文書】

競技順は問わないので、例えば表 1 が完成した時点で考察文書の途中まで入力することもできます。文章中の「※」には数字を入力して下線を引いたり、「☆☆」は「増加」や「減少」を入力して下線を引くなど、指示を確認してから作成を始める必要があります。

情報処理技術競技大会は、来年度も開催されるので、本大会出場を目指す諸君は、日々の授業を大切にしながら自らの情報処理技能の向上を目指して欲しいと思います。